

青年學校教育費國庫補助法案特別委員會會議事速記録第四號

昭和十四年三月十五日(水曜日)午前十一時十四分開會

○委員長(侯爵德川義親君) 是カラ開會致シマス、質問ヲ終リマシテ今日カラ討論ニ入リタイト存ジマス

○男爵大森佳一君 私ハ本案ニ對シマシテハ異議ハゴザイマセス、贊成ヲ致スノデアリマス、唯贊成ニ付キマシテハ希望的ノ意見ヲ開陳致シタイト思ヒマス、二ツゴザイマス、第一ハ、今回青年學校義務教育制ヲ立ツルニ付キマシテハ、其ノ堅實ナル成立、發達ノ爲ニ立法協贊ノ手續ヲ以テスルコトガ宜クハナイカト云フコトニ關シマシテノ私ノ質問ニ對シマシテ、政府ハ先例ニ從ヒ勅令ヲ以テスル意嚮デアル、從前ノ慣例ヲ改ムルコトヲ躊躇セラレテ居ルヤウナ御様子デアリマス、之ニ付テ再三ノ答辯ヲ私ハ承リマシタガ、私ハ、其ノ何故デアルカヲ明確ニハ了解シ難イノデアリマス、折角此ノ立派ナ有用ナル制度ノ將來ノ爲ニ甚ダ惜ムベキコトデアルト感ズルノデアリマス、國民ニ義務強制ノ形ヲ以テ臨ミ、市町村ト云フ自治公共團體ニ費用ノ負擔ヲ命ズル關係ニ付キマシテハ勿論ノコト、元々此ノ制

度ハ國民生活ニ直接シ、我ガ國青年ノ士氣ノ振否ニ關スル所ノ重要ナル組織機構デアリマスカラ、須ラク我ガ國ニ獨得デアル所ノ、萬民輔翼ノ精神ニ基キ、立憲ノ常道ニ則リマシテ、堂々ト國民協贊ノ手續ヲ履マレ、全國民ノ理解、認識、自覺ヲ一層深カラシメテ、以テ此ノ制度ノ健全ナル發達ニ資スルヤウニ致シタイトデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ、更ニ政府ノ慎重ナル考慮ヲ煩ハシタク希望ニ堪ヘナイノデアリマス、是ガ意見ノ第一點デアリマス、第二ト致シマシテ、青年學校教育制度ハ方今ノ時局ニ對シマシテハ勿論、國家百年ノ大計デアリマシテ、固ヨリ喫緊ノ事デアリマス、今後之ガ爲ニ要スル所ノ國庫並ニ地方ノ負擔ハ、自然是カラ相當ニ之ガ爲ニ増嵩スベキコトハ當然ノ次第デアルト考ヘルノデアリマス、然ルニ一面國費ノ多端ヲ加ヘ、地方ノ窮乏ハ愈々甚ダシキヲ加フルト云フ際デアリマスカラ、私ハ、此ノ財政困難ノ爲ニ、萬一此ノ大切ナル事業ノ進展ヲ阻マレルト云フガ如キコトガアリマシテハ、甚ダ遺憾デアルト思フノデアリマス、此ノ時局財政ノ困難ナル際、極力節約ヲ圖ルト云フ

コトハ勿論デアリマスルガ、事ハ元々國民教育上喫緊ノ事デアリマシテ、要務中ノ要務デアルト考ヘマス、其ノ振否ハ直チニ國力ニ影響スル、即チ申サバ廣義國防ノ中心ニ屬スト言ヒ得ル事業トモ考ヘラレルノデアリマス、故ニ同ジク節約ヲスルト云ウテモ、他ノ方面ニ節約ヲ加フルトハ其ノ趣ヲ異ニスベキモノデアルト考ヘマス、若シ萬一教育ノ事ガ其ノ實績、實果ヲ目前ニ收メルコトガ出來ナイト云フ故ヲ以テ、今後此ノ事業ノ適當ノ節減ヲ試ミラレルト云フヤウナコトガアリマシテハ、甚ダ恐ルベキコトデアルト考ヘマス、財政困難ノ中ニモ與フ限リ此ノ事業ノ爲ニ費用ヲ充タシテ、實益ノアル經費ヲ支出シテ、事業ノ充實ニ最善ノ效果ヲ擧ゲルヤウニ致シタイトデアリマス、特ニ此ノ邊ノコトニ付キマシテハ關係當局者間ノ連絡ト協力ニ萬遺漏ナカラムコトヲ希望シテ已マナイノデアリマス、是ガ私意見ノ第二デアリマス、此ノ二點ヲ開陳致シマシテ、此ノ案ニ贊成スル次第デアリマス

○男爵紀俊秀君 私モ大森男爵同様ニ此ノ案ニハ異議ハゴザイマセス、唯一二私希望ヲ申上ゲタイトデアリマスガ、ソレハ折角青年學校ヲ義務教育ト致シマシテモ、出席率ガ惡イト云フコトニ相成リマシテハ其ノ目的ヲ達シタイト存ジマシテ、過日來數回政府委員ト出席率ノ問題ニ付キマシテ質問應答ヲ重ネマシタ、政府ニ於テ出席率ヲ良クスル名案アリヤ否ヤト云フコトニ付テ、御尋ヲ致シマシタノデアリマスケレドモ、私ハソレニ贊成致シ難イノデアリマス、果シテ政府ガ考ヘテ居ル通りノ方法ヲ以テ出席率ヲ良クスルヤ否ヤト云フコトニハ、多大ノ私疑問ヲ持ッテ居ルノデアリマス、或ハ興味アル教育ニ依ッテ出席率ヲ多クスル、然ラバ興味アル教育トハ何ゾヤ、伺ッテ見ルト、其ノ職業ニ最モ密接ナル教育ヲスルコトガ教育ヲ完備スルモノデアルト云フヤウナ御答辯モアリマスシ、又義務教育ニスル斯ウ云フ響ケケデモ精神上多大ノ「シヨック」ヲ與ヘテ、サウシテ之ニ依ッテ大イニ出席率ヲ良クスル、或ハ地方有志ガ大イニ之ニ理解ヲ持ッテ、向學心ヲ喚ルヤウニスルトカ、或ハ勞働時間中ニ出席時間ヲ加ヘルト云フ方法ニ依ッテ、又出席率ヲ良クスルト云フヤウナ御話ヲ承リマシタガ、私トシテハ是ダ

ケデ果シテ出席率ガ良クナルモノカ、今迄ノ青年學校ノ中デハ、今日地方ノ事情ニ照シテ目的ヲ達スルヤ否ヤト云フコトニ付テ、餘程疑問ヲ持ッテ居ルノデアリマス、併シ其ノ節私ガ申上ガマシテ御賛成ヲ得マシタ映畫教育ヲ、大イニ之ヲ利用シテ、主トシテ映畫教育ニ依ルト迄申シマセスケレドモ、今日ノ青年ノ現在ノ嗜好ト、言葉ヲ改メレバ、青年ノ風潮ト申シマスカ、サウ云フヤウナモノニ照シテモ、映畫教育ヲ大イニ善イ方ニ活用致シマシテ、之ヲ利用スルコトニナレバ僅カナ時間デ多大ノ效果ヲ擧ゲルコトモ出來マスシ、此ノ迫力ノアル效果ノアル映畫教育ニ依リマス云フト、是ヨリ本當ニ興味ヲ以テ教育ヲシテ行ク、出席率ヲ良クシテ行クコトカトモ思ヒマシテ申上ガマシタ、處ガ政府モサウ云フ考ヲ持ッテ居ルト云フコトヲ伺ヒマシテ、私ハ大イニ喜ンデ居ルノデアリマス、併シ是ノミニ依ッテ出席率ヲ良クスル^ト云フコトハ餘程ムヅカシイコトデアルト思ヒマスノデ、ドウカ折角青年學校ヲ義務制ト爲サルト云フコトヲ實行爲サルニ付テハ、モット深く、出席率ヲ良クスル方法ヲ、色々實地ニ即シテ御考ニナリマシテ、地方ノ實際ノ狀況、又青年ノ實際ノ有様ヲ、都會ノミナラズ地方

農村、山村漁村等ニ於テ、ドウカ十分ニ御調べ戴イテ、サウシテ適切ナ方法ヲ考ヘテ出席率ヲ良クシテ戴キタイト思ヒマス、若シ義務教育ニナツタガ就學率ガ惡イト斯ウ云フコトニナリマス、國民精神ノ上ニモ多大ノ影響ヲ持ツコトナラウカト思ヒマスカラ、特ニ此ノ點ヲ御考ヲ願ヒタイ、尙私ハ、折角是ガ義務教育ニナリマシテ、サウシテ日本ノ青年ノ教育ノ向上ヲ圖リ、普及ヲ圖ラウト云フ御考モ、或ハヤリ方ニ依ッテハ教育ノ低下ニ却テナリハシナイカ、此ノ點ガ餘程ムヅカシイ所デアリマスノデ、此ノ點ニ付テ十分一ツ御考慮ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、ドウモ今日小學校ノ教員ガ段々ト他ノ職ニ轉ジルト云フ傾ガアリマスルシ、又從ッテ師範學校ノ應募數ガ時トスルト、其ノ應募人員ガ滿タナイト云フヤウナ傾サヘモ出來テ居ルヤウデアリマス、過日モ女教員ノ主ダツタ人ガ會合致シマシテ、私モ其ノ席上ヘ參リマシタガ、其ノ女教員ナドハ、段々ト是カラ男教員ガ減ッテ來ル、自分ノ學校ニモ是ダケ減ツタ、隣ノ學校ニモ是ダケ減ツタ、ソレダカラドウシテモ段々ト男教員ト云フモノハ減ッテ來ルデアラウ、ソレヲ充タスニハ女教員ヲ以テ充タサナケレバナラヌト云フヤウナ

傾向ニナツテ居ル、現今ノ教育狀況ニ照シテ、ドレダケ女教員ガ奮發シ、ドレダケ考ヘテ行カナケレバナラヌカト云フヤウナコトカラ座談會ヲ催サレマシテ、色々ノ話ヲ聞イテ見マシタガ、是ハ東京ニモサウ云フ傾ガアリマス、地方ヲ旅行ヲ致シマスレバ直グニ分ル、此ノ男教員ガ減ッテ居ルト云フコトハ是ハモウ明カナ事實ナンデアリマス、ソレデ殊ニ此ノ青年學校ニ相成リマス、兼任者ガ非常ニ多ウゴザイマス、專任教員ヲ御殖シナル御考デアリマセウケレドモ、併シ是ハドウシテモ地方ノ出費等ノ關係カラ、自然是ハ矢張り兼任者ガ多クナルガラウト思フ、事實ニ於キマシテ其ノ專任者ト雖モ、ドウモ色々ノ事情デア角政府ハ立案ヲ爲サル時ニハ善イ方バカリヲ御覽ニナツテ、サウシテ御説明ナドニモ、斯ウ云フ傾向ガカラ心配スルナ、斯ウ云フ善イ事ガアルノダカラ、ソレハ心配ニハナラナイト御考ニナリマスケレドモ、是ハ矢張り善イ所モ惡イ所モ實際ニ見テ、サウシテ惡イ所ヲ特ニ心配シテ、サウシテ問題ヲ解決シナイト云フト、實ニ憂フベキ問題ガ多ク出來テ來ルノデヤナイカト思ヒマスガ、ドウモ是迄ノ青年學校ノ教員ハ兼任者ガ多ク、專任教員モアリマシタケレドモ、

其ノ專任教員ハ先ヅ普通ノ小學校ノ教員デアツテ、相當年モ取ッテ來タ、恩給モ付イタ、サウ云フヤウナ人ニハ、ドウモ地方ノ財政ノ關係カラ、段々ト高級者ニナツタラ財政ノ都合デ、斯ウ云フ人ヲ罷メテ賞ハナケレバナラヌ、併シ青年學校ヘ入ッテヤッテ居ルト、恩給ト青年學校ノ俸給トデ、ドウカ斯ウカ前ノ俸給位ニ行ケルカラト云フヤウナモノ隨分流レ込メ居ル傾ガアルノデアリマス、又青年學校ノ方ハ小學校ト違ヒマシテ、小學校ノ方ハ一年中祭日、日曜日ヲ除クノ外學校ヘ出テ居ルノデスケレドモ、青年學校ノ方ハソレダケノ時間ガ無イノデスカラ、謂ハハ二百十時間教ヘテ居レバ宜イノデ、小學校ノ教員ニ較ベルト比較的閑ダト云フコトニナリマシテ、何ダカ小學校ノ教員ト竝ベルト青年學校ノ教員ガ劣ッテ居ルカノ如ク見エルノデス、サウ云フ爲ニ自分モ嫌ヒマスシ、世間モ幾ラカソレヲ輕ロシメルト云フヤウナ傾ガアリマシテ、ソレガ自然ト生徒ニモ反響シマスノデ、ドウモソナ點カラ致シマシテ、教員ニ其ノ人ヲ得ルト云フコトガムヅカシイノデアリマスカラ、ドウシテモ教育ガ之ニ依ッテ低下セザルヲ得ナイノデアリマス、ソレカラ質問ノ中ニモ申上ガマシタケレドモ、高等小學ニ於テ

ハ千二百時間勉強致シマス者ガ、青年學校ニ相成リマスト百二十時間シカ一年ニ教ヘラレナイ、ソレ故ニ青年學校ノ普通科ヲ卒業シタ者ハ、高等小學ヲ卒業シタ者ヨリ學力ノ點ニ於テ餘程劣テ居ル、其ノ優劣ガアル者ヲ、今度ハ青年學校ノ本科デ同ジヤウニ教育シテ行カナケレバナラスノデスカラ、是ハ教育家トシテハ餘程骨ガ折レル仕事ダト思フ、ソレヲサウ云フ前ニ申上ダグヤウナ先生ガ一手ニ引受ケテ教ヘテ行クノデスカラ、謂ハハ優等兒ト劣等兒ト一緒ニ教ヘテ行カナケレバナラスノデ、是ハ非常ニムツカシイ事ニナル、小學校ニ於テモ優等兒ト劣等兒ト別ニシテ教ヘルト非常ニ能率ガ上ツテ來ルト云フヤウナ事實ガアリマスノニ、茲デハ優等兒ト劣等兒ト一緒ニ教ヘテ行カナケレバナラスト云フコトニナリマスノデ、是ガ又教育ノ低下ヲ來ス所以ニナリハシナイカ、ソレカラ近時青年學校ヲ造レバ町村デハ國庫補助金ヲ貰ヘル、高等小學校ハ今ノ所義務制デアリマセヌカラ、サウ云フ恩典ニ浴サナイト云フヤウナコトカラ、大分此ノ頃アチラコチラノ町村長ニ會ヒマスルト、ソレ等ノ人々ハ、地方費ガ斯ウ窮迫シテ居ル折柄デアツテドウニモヤリ切レナイガ、幸ヒ青年學校ガ出來テ、

又其ノ子弟モ仕事ヲヤツテ居ル傍ラ勉強ガ出來ルシ、又市町村モ國カラ補助ヲ貰ヘルト云フノデ、高等小學校ヲ止メテシマツテ青年學校ニシヨウト云フ傾向ガ此ノ頃大分アル、或表面ヲ見ル居ル教育家ナドハ、ソシナ事ハ無イ、高等小學へ入ル生徒ト青年學校へ入ル生徒トハ素質ガ違フ、家庭ノ事情ガ違フノダト言ヒマスケレドモ、高等小學ニ在學シテ居ル者ト、青年學校ニ在學シテ居ル者トノ家庭トカ素質トカ云フモノハ能ク似テ居ルノデアリマス、是ハ詳シク申サナイデモ御分リデアラウト思ヒマスガ、サウ云フヤウナコトノ爲ニ高等小學ノ生徒ガ本科ヘ流レ込ムト云フコトニナルト、是ハ又教育ノ低下ヲ來スト云フコトニナリマス、ソレカラ就學時間ヲ労働時間ノ中ニ入レルト云フコトハ誠ニ結構デスカレドモ、是ハ或一部分ノ雇傭主ガ、ドウモ營利ノ上カラ申シマシテ、八時間労働サセタ者ヲ二時間減シテ六時間ニサレルト云フコトニナルト、何處カニ埋合セテ付ケヨウトスルノハ是ハ人情デアアル、サウナルト酷使ト云フコトガ又一ツノ心配スベキ問題デアリマスシ、又榮養ノ點ニ於テ相當心配シナケレバナラスト云フヤウナ問題ガ相當起ツテ來ルト思フ、或ハ文部省デハ、ソレハサウ云フ事ハ無イ、向學心ニ燃

エテ居ルシ、雇傭主モナカク理解ガアツテ、日本ノ人間ダカラサウ云フコトハシナイト御考ニナルカモ知レマセヌガ、實情ハサウデナイ、サウ云フヤウナコトモ心配シテ行カナケレバナラス、サウスルト是ガ一ツノ又體位ノ低下ト云フコトニナラウト思ヒマス、詳シイ事ハ申上ダマセヌガ、サウ云フヤウナコトガ澤山アリマスカラ、此ノ教育ヲ向上サセヨウト云フコトガ却テ反對ノ結果ニナリハシマセヌカ、ソレカラ後デ申上ダマシテ特ニ内務大臣ノ御考ヲ承リタイト存ジマシテ、御忙シイ所ヲ御出デ戴イタノデアリマスガ、後デ申上ダゲルコトニモ關聯致シテ居ルノデスガ、義務教育ニシテ大部分地方費ヲ賄ツテ行クト云フコトニナリマス、ソレダケ地方費ガ嵩ンデ參リマスノデ、教員其ノ人ハ少々知識ノ低い人デアツテモ、月給ガ廉ケレバソレヲ教員ニスルト云フ傾向、ドウシテモ出テ來ルト思フ、其ノ點ヲ餘程御考ヘ下サイマセヌト、青年學校ノ教師ニ其ノ人ヲ得ナイト云フコトニ相成ラウカト思ヒマス、是ハモウ一ツ問題デアリマスガ、ソレヲ申上ダゲタ方ガ却テ便利ダト思ヒマスカラ、其ノ問題ノ中ニ申上

ルノダ、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデスガ、地方ハ相當ノ負擔ヲスル、ソレガ建前ニナツテ、ソレヘ持ツテ行ツテ補助ヲシテヤル、斯ウ云フコトニナツテ居ルガ、私ハ、是ハ國庫ガ全額ヲ支辨シ、國庫ガ全額ヲ負擔サレルノガ當然ナコトデヤナイカト思フ、成ル程小學校ノ方ノ義務教育費ハ國庫デ補助ナサルコトニナツテ居リマスガ、アノ勅令ガ初メテ出マシタ時分ノ地方ノ財政ノ狀況ト、今ノ地方ノ財政ノ狀況トハ著シク違ツテ居ル、此ノ程政府委員ノ御説明ニ依リマスト、全額支給シタイノダケレドモ、今國庫モ相當財政ニ付テハ考ヘナケレバナラス時デアルカラ、已ムヲ得ズ斯ウシタノダト仰セラレマスケレドモ、其ノ苦シイ國庫カラ地方財政補給金ト云フモノヲ編ミ出シテ、地方ヘソレダケノ金ヲ補給サレテ居ルノダカラ、申上迄モナク地方ハ、國庫ヨリ以上ニ財政ガ窮迫シテ居ルト考ヘナケレバナラス、遊興稅ヲ國ノ稅トシテ引上ダゲヨウトスル時ニハ、ソレニ代ルベキ財政補給金ヲ増額シヨウト云フヤウナコトモ、政府デハ御考ニナツテ居ルヤウニ密カニ承ル位ニ、地方ノ財政ガ苦シイノデス、サウスルト之ヲ逆ニ考ヘマシテ、地方ノ財政ガソレ程苦シクアリマスカラ、國費ヲ以テ折角はハ青年學校

ノ教師ノ俸給ダゾト渡シマシテモ、受取ル者ハ背ニ腹ハ代ヘラレマセヌカラ、苦シマギレニソレヲ他ノ事業ニ使フ、使ハウトスレバ使ヒ得ラレルノデアリマス、是ガ國庫補助ノ缺點デアルト私ハ思フ、是ハ教員ニ渡セト云ッテ御渡シニナル俸給ハ、金ニ印シガ付イテハ居リマセヌカラ、ソレヲ他ノ方面ニ苦シイノデ使フト云フコトガ往々アル、先生ノ受取ルベキ俸給ヲ土木費ニ使ツタリ勸業費ニ使ツタリスルコトハ、小學校ノ教育費デモサウ云フコトガアルノニ、殊ニ財政ノ苦シイ時ニサウ云フ金ガ渡ッテ來ルトスルト、ソレヲ他ノ方面ニ使フト云フコトハ是ハ有リ得ル、サウスルト先生ノ俸給ヲ、ドウシテモ廉クシナケレバナラヌト云フヤウナコトカラ、良イ先生ヲ得ルコトガ出來ナイ、斯ウ云フコトニナッテ參リマス、此ノ點特ニ一ツ、内務大臣ニ御考ヘ戴キマシテ、サウ云フコトノナイヤウニシテ戴キタイト思ヒマス、屢、申上ゲルコトデアリマスガ、曾テ小學校ノ教員ノ俸給不拂、寄附強要ト云フヤウナ問題ガ起リマシタ時ニ、文部省ノ方デハ寄附強要ヲサシテハイケナイゾ、俸給不拂ニシテハ、イカナイゾト通牒ハ度々發シテイラッシャイマスケレドモ、其ノ俸給ヲ拂フ所ノ殆ド任免ノ權ヲ

得テ居ル所ノ町村長ハ、勝手氣儘ニ他ノ仕事ニソレヲ流用シテ居ッテ、サウシテ何モ文部省カラサウ云フ命令ガアッテモ聽カナイデモ宜イト云フヤウナ態度ヲ示シ、サウスルト町村長カラソレヲ縣廳ノ方ヘ御話ラヌルノ方ノ意見ニ贊同ヲシテ、サウシテ其ノ俸給ノ不拂或ハ寄附強要等ガアッテモ、ソレヲ默認シテ居ル、サウシテ政府カラ、寄附強要アリヤ、俸給不拂アリヤト云フヤウナ通知ガ文部省カラ行クト云フト、町村長ハ形式ノ上ニ於テ、文書ノ上ニ於テ、私ノ村ニ於テハサウ云フモノガアリマセヌト云フ通知ガ行クカラ、アノ時モ總理大臣代理ガ幣原サンカト思ヒマスガ、其ノ幣原サンガ、本會議議デ寄附強要ヲシタリ、俸給不拂ヲシタ者ハ一人カ二人ハアルト思フガ殆ドナイト云フ御答辯ヲシマシタカラ、私ハサウデアリマセヌ、實情ニ對シテ調べマシタガ、是ダケアリマスト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、サウ云フヤウナコトヲ又御認メニナルカラ、其ノ後ノ議會ニ於テ、遂ニ教育費ニ限ッテ特別會計ト爲スヲ得ト云フヤウナ法律ヲ御拵ヘニナッタト云フコトガアッタ、既ニアノ時ニハ俸給不拂ヲシタト云フコトヲ裏書セラレテ居ルト云フコト私ハ

思ヒマス、サウ云フヤウナコトモアッタノデアリマス、處ガ今度ハ是ダケ窮迫シテ居ッテモ、町村ニ使ッテ居ル吏員モ増スコトモ出來ナイ、一人ニ澤山ノ仕事ヲ負ハシ、此ノ戰時中戰地ニ於テモ亦銃後ノ仕事ニ於テモ町村ノ役場ハ彌ガ上ニ輻輳シテ居ルノニ、三人、四人使ハナケレバナラヌ所ニ殆ド一人ヤ二人ノ吏員デ賄ッテ行ッテ、ソレモ極メテ薄給デアル、疲勞シ切ッテ居ルヤウナ時デアリマスノデ、其ノ時ニ地方費デ義務教育ヲ仰付カッタ、國カラ渡ルノハ是ダケダ、サウスルト自分達ノ出シテ居ル費用ハ何トカシテ穴埋メヲシナケレバナラヌガ、少シナリトモ青年學校ノ國庫補助金ガ國カラ渡ッテ來ルカラト云フノデ、其ノ外ノ仕事ニ廻シテシマツテ、極メテ低イ、能率ノ擧ラナイ先生ヲ極メテ廉イ俸給デ雇フト云フヤウナコトハ、是ハアリ勝チナコトナノデアリマス、此ノ點ヲ餘程能ク御考ヲ私ハ戴キタイト思フ、ソレデ實ハ私ハ修正シ得ラレルコトナラバ、此ノ第一條ヲ修正シタイト思フノデアリマス、國庫補助法デナクシテ國庫支辨ト、斯ウ云フコトニシテヤラナケレバ本當ノ教育ノ效果ハ擧ラナイと思ヒマスケレドモ、併シ今日ノ現狀ニ照シテ、又今後ノ御努力ニ對シテ、是ハ折角衆議院ヲ通過致

シテ居リマスシ致シマスカラ、此ノ儘デ無疵デ此ノ法案ヲ通シタイト思ヒマスガ、本當ノ教育ノ目的ヲ達シヨウトスルナラバ、國庫支辨ト迄行カクテハ出來ナイノデアライカト私ハ、實ハ心配致シテ居ルノデアリマス、今ノ小學校ノ教員デモサウデス、關西方面ナドニ參リマス、モウ四十ニナッタナラバ小學校ノ教員ハ罷メナケレバナラヌト云フヤウニ皆考ヘテ居リマス、ト云フノハ、相當ノ高給者ニナルト云フト、モウ市町村ノ方デ其ノ俸給ヲアルコトガ出來ナイト云フコトニナリマスカラ、百六十圓ノ校長サンヲ一人置イテ置クヨリカ、八十圓ノ先生ヲ二人入レナケレバナラヌ、又入レタ方ガ地方ノ財政ニ大變ニ都合ガ好イト云フ傾ガアリマスカラ、今ノ小學校ノ教員ハ、續々轉職スルト云フコトノ原因ハ一ツハ之ニ因ルノダト思フ、一ツハ好イ仕事ガ澤山餘所ニアルカラソレヘ走ッテ行クト云フコトモアリマス、其ノ仕事ヲ一生ノ天職トシタイトケレドモ、四十前後ニナッタラ罷メラレテシマウノダカラ、ソレデハ詰ラヌカラ今ノ中ニ身ヲ交ハシテ置イタ方ガ宜カラウト云フコトガ、一ツ問題ニナッテ居ルノガ青年學校デハ益、サウナル、青年學校ノ教員ヲ自分ノ天職ト考ヘテ、其ノ仕

事コソ自分ノ最モ與ヘラレタ所ノ有難イ
仕事デアノダカラ、之ヲ終身ノ仕事トシ
テヤリタイ、斯ウ考ヘテ居ッテモ、イツノ時
ニカ罷メラレテハ仕方ガナイ、斯ウ云フコ
トガ餘程累ヲナシテ居リマスノデ、町村長
ガ小學校教員、青年學校ノ先生ノ殆ド進退
ニ關係シテ居リマスケレドモ、是ハ町村長ヤ
或ハ市長、サウ云フ人ガソレヲ左右スルダケ
ナラマダ宜シイデスガ、ソレニ又市町村會議
員ガ、小學校ノ教員ノ進退ヲ自由ニスルト云
フコトハ色々弊ガアル、デスカラ此ノ間
或意味ニ於キマシテハ小學校ダノ、或ハ青
年學校ダノト云フヤウナ市町村立デヤッテ
居リマスル學校ハ、殆ド市町村ニ委託シテ
居ル、サウシテ其ノ一番上ニ立ッテ、ソレノ
縮括リヲシテ居ルノハ學務部長デアアル、斯
ウ云フコトニナル、學務部長ハ知事ノ下ニ
居ッテ仕事ヲシテ居ル、其ノ知事ハ内務省ノ
管轄ノ下ニアル、斯ウ云フコトニナッテ居マ
スモノデスカラ、寧ロ地方ノ教育ノ振フト
振ハザルハ、現在ノ所ハ文部大臣ヨリハ内
務大臣ノ威力ノ方が多イノデヤナカラウカ
ト思フ、之ヲ一ツ慎重ニ御考ヲ願ヒマシテ、
文部大臣ト内務大臣ト力ヲ御合セニナッテ、
サウシテ折角青年學校ヲ義務制ニ爲サイマ
シテ御趣旨ニ一段ノ一ツ御奮發ヲ願ヒタイ

ト存ジマス、ソレカラ尙モウ一ツ御願ヒ致
シタイノハ、是ハ本會議以來度々申上ガテ
居ルコトデスケレドモ、大臣モ御考ニナッテ
居ルヤウデスガ、ドウカ女子青年學校促進
ト云フコトニ付テ一ツ考ヘテ戴キタイと思
フ、過日文部大臣ハ、女子ノ青年學校ハ考
ヘテ居ル、併シナカク、是ハ關係ガムヅカ
シイノデアアルガ、考ヘテ居ルノデアアル、併
シ女子ニモ男子ニ優ル良イ者ガナカク、ア
ル、サウ云フ者ヲ教育シテ行キタイ、又惡
イ者ハ矯メ直シテ良クシテ行キタイト云フ
御考ヲ持ッテイラシヤルヤウニ過日來拜聽
致シマシタ、私共ハ良イ方面ハ見マスケレ
ドモ、今日ノ女子教育ガ餘程惡イ方面ニ向ッ
テ居ルコトモ亦事實ダト思フ、是ハドウシ
テモ或意味ニ於テハ矯メ直サナケレバナラ
ヌヤウニモ考ヘラレルコトガ澤山アル、時
間ガアリマセヌカラ、其ノ例證ヲ擧ゲルコ
トハ省キマスケレドモ、斯ウ云フヤウナ點
カラ申シマシテモ、ドウカ一ツ女子青年學
校ヲ男子青年學校ト共ニ成ルべく早く促進
シテ戴キタイ、是ダケノ私希望ヲ申上ゲマ
シテ、此ノ案ニ贊成ヲ致シマス

○下村宏君 簡單ニ希望ヲ添ヘテ贊成ノ意
見ヲ申シマスガ、義務教育ノ八年制ト云フ
コトニナリ、青年學校ノ義務制ト云フコト
ハ非常ニ結構ナコトデアッテ、平時ハ無論デ
スガ、非常時ノ時ハ尙其ノ效果ガ多イト思
フデスカラ、此ノ案ハ贊成ヲ致シマスガ、
唯此ノ非常時局ニ際シタ爲ニ、只今紀男爵
カラモ色々御話ガアリマシテ、教員ノ待遇
デアルトカ、學校ノ設備デアルトカ、各方
面ニ學校ノ校數ヲ殖スニシテモ非常ニ金ガ
掛ルデスガ、是モ此ノ際ナカク、註文シテ
モ非常ニムヅカシイ問題ト思ヒマス、同時
ニ此ノ時局ニ際シテ、矢張り此ノ青年學校
ノ擴充ヲ一方デ必要トシナガラモ困難ト思
フコトバ、青年ガ近頃非常ニ忙シクナッテ來
ル、地方ハ多數ノ壯丁ガ出征ヲシテ居リ、
馬ガ徵發サレテ居ル、サウ云フ點デ地方ノ
青年モ今迄ヨリモ農事其ノ他ニ忙シクナッ
テ居ル、ソレカラ都會地ハ都會地デ又重工
業其ノ他ガ所在ニ起ツタ爲ニ、都會ノ青年モ
亦、離村シテ來タ青年モ隨分此ノ仕事ノ方
ニ忙シクナッテ來タ、ソコデ又斯ウ云フ時局
ニ際シテ居ルガ爲ニ、青年團トカ、其ノ他
色々ノ青年團ノ行事ト言ヒマスカ、仕事モ
殖エテ來テ居ル、丁度内務大臣モ此處ニ御
臨席デアリマスガ、私此ノ前宇部市ニ行ッタ時
ニ矢張り青年學校ノコトヲ尋ネルト、此ノ工
場所在地ノ仕事ガ殖エテ來ルカラ、矢張り近
邊カラ自轉車等デ通ッテ來ル者ガ殖エテ來テ、

工場へ自轉車デ駈ケテ來テ、又學校へ行カウ
ト云フヤウナコトデ、ドウモ一番向學心ニ燃エ
テ居ル良イ連中ガ、段々病氣デ缺勤シ出シテ
來ル、ソレハ何モ青年學校ガアル爲ニ病氣ニナ
ルノデハナイ、サウ云フ工場デ隨分不斷ヨ
リモ長イ時間働クカラ過勞ニナルノガラウ
ト思ヒスガ、其ノ點私ハ宇部デ其ノコト
ヲ初メテ聞イテカラ後、各地デ尋ネマスル
ト、到ル處其ノ話ニ同感ダト云フ聲ヲ聞ク
ノデアリマス、是ガ果シテ全體ノ中ノドレ
ダケノ比率ノ者カソレハ分ラナイノデアリ
マスケレドモ、兎ニ角此ノ時局デ都會地モ
農村モ平時ヨリ忙シクナッテ來タコトハ事
實デアリマスカラ、只今紀男爵モ出席者ノ
コトニ付テ御心配ニナッテ居ルコトニ私モ
同感デハアルガ、同時ニ要スルニ地域ト季
節ニ依ッテ餘程此ノ時間ニ相當ノ斟酌デモ
加ヘナイト、一律ニハ私ハイカヌモノデヤ
ナイカト思フ、無論相當斟酌サレルコトト
モ思フノデアリマスガ、一方デ昨日文部大臣
ノ御答辯モアリマシタガ、青年團等ノ事業
ト仕事ト、青年學校ノ仕事ナドニ、無論重
複シナイト云フコトハ無論考ヘラレルコト
デアリ、ソレカラ又先程紀男爵ノ御話ニナッ
タヤウニ、映畫デアルトカ漫畫等或ハ見學ニ
行クトカ「スポーツ」ヲヤルトカ、色々ナモ

ノヲ殖シテ、同ジコトデモ興味ナリ趣味ヲ以テ愉快ニヤル、マア丁度「ドイツ」ノ「ケ・デー・エフ」ノ官給旅行團ノヤウナ例モアリマスガ、其ノ内容ノヤリ方モ精神的ニ裕リガアルト云フカ、潤ヒガアルト云フカ愉快ニ學業ニ就イテ居ラレルト云フコトガ、精神的ニモ肉體的ニモ餘程前申シタヤウナ懸念ヲ緩和スルノデハナカラウカ、ソレデ斯ウ云フ時局ガ進メバ、財政ノ上カラ云ツテモ又其ノ他ニ於テモ相當途ハ付クデセウガ、兎ニ角今一方ニハ財政ノ上デモ手ガ廻リ兼ネルデアリマセウシ、更ニ今云フヤウナ事情デ、地方モ都會モ不斷ヨリモ非常ニ忙シクナツテ居ルカラ、又之ニ依ッテ折角青年學校ハ拵ヘタガ其ノ青年ノ體位ガ下ツテ來ルト云フヤウナコトデハ、逆效果ニナリマスルカラ、前申シタヤウナ點ニ付テ當局デ十分考慮ヲ拂ッテ戴キタイト、斯様ナ希望ヲ添ヘマシテ贊成ノ意ヲ表シマス

○田所美治君 大森男爵初メ皆様ガ御意見ヲ付シテノ御贊成デアリマシタ、何モ私ハ申スコトハゴザンセヌガ、私モ本案ニ付テハ何モ異議ハゴザンセヌ、唯此ノ間中、問答ヲ致シテ居リマス間ニ、御承知ノ通りニ本法補助費ハ誠ニマダ薄弱ナモノデアリマシテ、將來ハ當局ニ於テモ國庫ノ負擔法ニ

之ヲ變ヘタイ、又内容ニ付テモ補助ヲウソト増シタイ斯ウ云フ希望モアラレルヤウデアリマス、又私ガ御尋ネシタ中ニモ此ノ俸給手當ヲ補助スル外ニ、子弟ノ貧窮ナ家族ニ對シテモ、又就學ノ費用等ニ付テモ負擔ヲシテヤラナケレバナラス、斯ノナ狀況モ御同感ノヤウデアリマス、要スルニ此ノ國庫補助法ハ、今アリマス實業教育費國庫補助法ノ、其ノ中ノ實業補習學校ニ關スル部分ヲ取ツテ來テ、即チ此ノ附則ニアリマス通り、第四條但書ガケトカ、第七條ノ「前條ヲ削リ」ト云フヤウナコトガアリマス通りニ、其ノ中ノ一部分ヲ取ツテ來テ、サウシテ形式ハ此處ヘ特別ノ三十四箇條ノモノヲ拵ヘタニ過ギヌ、又實際ニ付キマシテモ毎年豫算ヲ以テ定メタ金額ヲ支出スルノデアリマスカラ、皆サン御心配ノ通り豫算デ終始増減ヲセラレル、殊ニ依ルト又來年増減サレルカモ知レナイ、國家財政ノ都合デ甚ダ不安ノモノデアアルノデアリマス、今迄モ義務制デナイ任意制ノ實業補習學校デアリマスナラバ、ソレハ青年學校デアリマスガ、青年學校デアリマスナラバ、ソレハ過不及ガアリマシテモ宜シウデゴザイマスケレドモ、義務制ニナツタ場合ニ於テハモウ少シ國庫補助法ヲ有力ナ力ノアルモノニセナケレバ

ナラス、志ガアツテモ金ガ足ラナイ爲ニ行ハレナイ、消長ヲ來ス、斯ウ云フコトヲ免レナイノデアリマス、實ハ何故ニ小學校ノ義務教育費ト同ジニ國庫負擔法トシテ出サレナカッタノカ、ソレハ今日財政ノ都合デ半分以下ニシテモ宜シイ、三分ノ一デモ宜シウゴザイマセウ、サウシテ金額ノ三分ノ一ニ相當スル金額ヲ支出スル、負擔スル、斯ウヤラレテ行ケバ其ノ憂ハ全ク無クナルノデアリマス、國庫負擔法トシテ此ノ定額ヲ國庫ガ負擔スル、即チ今ノ小學校デ云ヘバ半額ヲ負擔スルト云フコトガ初メカラ其ノ精神ニナツテ居リマス、サウシテ只今デハ八千五百萬圓ト云フモノヲ第一條ニ規定シマシテ、金額ノ八千五百萬圓ヲ國庫ガ負擔スル、斯ウ云フ規定ヲ嚴格ニ定メテ居ルノデアリマス、如何ナル年ニ於テモ既定ノ歳出ニナツテ、外ノ豫算ト違ッテ最初ノ既定ノ歳出デ是ハヤラスト云フコトニナツテ居リマスガ、此ノ原案ハ無論貧窮デアリマシテ、毎年豫算デ増減ヲ認メルコトニナルノデアリマスカラ、一日モ速カニ小學校ノ國庫負擔法ノ如キモノニ御改メニナルコトヲ私ハ希望スルノデアリマス、サウシテ是ハ既定ノ歳出ニシテ、定額ノ既定ノ歳出ニシテ置ク、ソレハ少クモ二分ノ一、義務教育ノ通り……

國民教育ノ通りニ、二分ノ一ヲ標準トスルモノノ定額ヲ既定歳出ニ御定メニナリ、サウシテ國庫補助法デモ宜シウゴザイマス、名前ハドチラデモ宜シイ、第一條ニ動カスモノヲ御定メニナリ、サウシテ段々將來増額ニ伴ッテ此方モ増額シテ行ク、増額シテ差支ナイモノデアアル、斯ウ云フ建前ニシタイト云フ御意見ノヤウニ、此ノ間中ノ問答ノ中ニモ伺ッテ居リマス、唯財政當局ノ考カラ此ノ時局ニ於テ已ムヲ得ズ斯ノナ薄弱ナモノガ出來テ居ルモノト考ヘテ居リマス、一方義務制ヲ立テル場合、國庫補助法ニハ相當シナイモノガラウ、弱イモノガラウト存ジテ居リマス、是ガ私ノ希望デアリマス、尙ソレカラ大森男爵或ハ紀男爵カラモ御述ニナリマシタガ、此ノ金ヲ外ニ使ハレルノデアリマス、小學校ノ八千五百萬圓モ纏々例ヲ擧ゲテ紀男爵ハ度々本會議ニ、又此處デモ述ベラレテ居ル、今モ承リマシタ通り、特別會計ニシテ置カスト云フ外ヘ使ハレル、文部省ハ……實ハ地方經濟ノ救済ノ爲ニ始終一部分ト云ヒマスガ、全部デアリマスイケレドモ、大部分ハ働クト、斯ウ云フコトガ從來ノ弊害デアッタノデアリマス、ソレ故此ノ特別會計ニ是非シテ貰フト云フコトノ希望ヲ述ベマシテ、サウシテ負擔法

ノ増額ノ時分ニ決議シタコトガモウ十年モ前デアリマセウ、其ノ時ニ我々ノ希望ノ全部ハ容レラレマセズシテ、特別會計ニ爲スコトヲ得ト云フコトニナッテ參ツタノデアリマス、是ハ十分ノ希望ヲ達成致シテ居リマセヌ、ダカラ特別會計ニシテ居ル所モアルシ、無イ所モアル、特別會計ニシテ置キマシタラ外へ使ハレナイ、已ムヲ得ザル場合ニ於テハソレガ監督官廳ノ認可ヲ受ケマシテモ流用ガ出來ル、ソレハサウ云フ餘地ヲ作ツテモ宜イカモ存ズマセヌガ、特別會計ニ是ハドウシテモシナケレバイクマイト思ハレルノデアリマス、既ニ小學校ノ場合ニ付テ貴族院ハ其ノ希望ヲ表示シテ居リマスカラ、此ノ國庫補助法ニ付キマシテモ、同一精神ニテ義務制ニナル以上ハ矢張り特別會計ヲ御立テニナラナケレバイクマイ、文部大臣ノ特ニ私ハ御盡力ヲ願フノデアリマス、今木戸内務大臣ハ丁度傍へオイデニナリマシタカラ、能ク御聽キヲ願ハウト思ツタノデアリマスガ、恐ラク内務省ガ始終是ハ反對スルノダラウト思フノデアリマス、内務省ハ地方財政ノ窮乏ト云フコトカラ、國庫ノ金ヲ矢張り餘裕ガアレバ外へ使ヒタイ、餘裕ガアレバ宜イノデアリマスガ、本目的ヲ脱却シテ、ソレヲヤラナイデ地方救済ノ方

ニ充テル、斯ウ云フコトガドウモアリ勝チデアラウト思フノデアリマス、今ハ地方財政救済交付金デアリマスカ、アノ方モ數千萬出テ居リマス、數千萬以上ニナッテ居リマセウガ、段々地方救済ノ目的デ出テ居ル金額ノ國庫ノ負擔支出モアルノデアリマスカラ、モウ今度ノ此ノ青年學校ニ付キマシテハ、此ノ法律ノ一條デ特別會計ニスベシト云フコトニ御拵へニナツタラ宜カッタウカト、斯ウ私ハ思フノデアリマスガ、是モ書イテアリマセヌ、色々ノ點ニ付キマシテ金額ヲ定メルトカ、或ハ歩合ヲ定メテ、國庫ノ規定歲出ノモノニシテ、ソレヲ他へ流用サレヌコト、斯ウ云フコト位ヲ書クノハ國庫補助法若シクハ國庫負擔法ナルモノニ於テ、近キ將來ニ於テ其ノ主義ニ御改メヲ願ハナイト云フト、文部大臣ノ所期ノ御目的ガ十分ニ達成シ得ラレナイ、コンナニ思フノデアリマス、段々は半年々歳々向フ七箇年ノ間種エテ行ク金デアリマスカラ、町村ハソレヲ狙ツテ居ルダラウト思フノデアリマス、サウシテ内容ノ改善トカ、教員ノ俸給ヲ殖シテサウシテ質ヲ善クシテヤル、教育ノ實績ヲ舉ゲルト云フコトノ目的ハ外へ流用サレルガ爲ニ阻害サレル、斯ウ云フコトノ虞ハ今モ見エテ居ルノデアリ

マス、紀男爵ノ御述ノ通りデアアルノデアリマスカラ、其ノ邊ニ付テハ近キ將來ニ於テドウゾ御工夫、御研究ヲ願ヒタイ、殊ニ今ノ内務大臣ハ、青年學校ノ義務制度ヲ文部大臣トシテ諮詢セラレマシタ、劈頭ニ於テ審議會へ諮詢セラレマシタ方デアアルノデ、實ハ文部大臣ガ厚生大臣、内務大臣ト斯ウ轉々セラレマシタガ、半バカラ後ニ現荒木大臣ガ實績ヲ襲踏セラレタ、法律ハ荒木サンノ手ニ依ツテ出來マシタノデアリマスガ、元ノ起リハ兩大臣ガ一體……、是ハ一貫ノ御盡力ノ結果ナンデアリマスカラ、只今ノ時ノヤウナ丁度兩大臣、關係大臣ガ御揃ノ時ニ特別會計位ハ、是ハ法律デナクトモ宜イノデアリマスカラ、勅令デ御立テニナッテ御進メヲ願フ、斯ウ云フコトニ文部大臣ノ御相談ヲ願ツテ御盡力ヲ願ヒタウ存ジマス、内容ノ改善ニ付キマシテハ教育審議會ガ十數項……、私モ亦昨今見テミマシタガ、ナカナカ詳シイ決議ヲ致シテ居ルヤウデアリマシテ、大體ニ於テハ是ハ當局ハ皆御同意ノ點デアアルノデアリマスカラ、深甚ナ周到ナ御配慮ヲ以チマシテ、遺憾ナキ此ノ制度ノ實績ヲ御舉ゲニナルヤウニ願ヒマス、色々問答ノ際ニ申上ゲテ置キマシタ點ヲ御參考ニ御願フスレバ仕合セデゴザイマス、本案

ニ對シテ何等異議ゴザイマセヌ
 ○委員長(侯爵徳川義親君) サウ致シマス
 ト、本案ニ對シマシテ皆様御異議ノナイモノト認メマシテ宜シウゴザイマスカ
 (「異議ナシ」ト呼フ者アリ)
 ○委員長(侯爵徳川義親君) ソレデハ本案ヲ是デ可決致シマス、是デ散會致シマス
 午後零時六分散會
 出席者左ノ如シ
 委員長 侯爵徳川 義親君
 副委員長 子爵清岡 長言君
 委員 男爵紀 俊秀君
 下村 宏君
 男爵大森 佳一君
 田所 美治君
 細田安兵衛君
 岩崎 清行君
 國務大臣
 文部大臣 男爵荒木 貞夫君
 内務大臣 侯爵木戸 幸一君
 政府委員
 文部省社會教育局長 田中 重之君

昭和十四年三月十五日印刷

昭和十四年三月十六日發行

貴族院事務局

印刷者 內閣印刷局